

会 議 録

会議の名称	池田市社会教育委員委嘱式並びに 平成26年度第2回池田市社会教育委員会議		
日 時	平成26年 11月6日(木) 開会 午前10時00分 ・ 閉会 午前11時30分		
場 所	池田市役所 6階第3会議室		
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たつみ議長 ・ 室田副議長 ・ 小倉委員 ・ 楠田委員 ・ 杉山委員 ・ 馬場委員(校長) ・ 古田委員 ・ 向田委員 <p style="text-align: right;">計 8名</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松森教育部次長 ・ 谷口教育部次長兼歴史民俗資料館長 ・ 加藤図書館長 ・ 東本石橋プラザ館長 ・ 上阪公民館長 ・ 田上生涯学習推進課長 ・ 南石橋プラザ副館長 ・ 杉本図書館副館長 ・ 高野資料館副主幹 ・ 則政生涯学習推進課主事 <p style="text-align: right;">計 10名</p> </td> </tr> </table>	<p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たつみ議長 ・ 室田副議長 ・ 小倉委員 ・ 楠田委員 ・ 杉山委員 ・ 馬場委員(校長) ・ 古田委員 ・ 向田委員 <p style="text-align: right;">計 8名</p>	<p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松森教育部次長 ・ 谷口教育部次長兼歴史民俗資料館長 ・ 加藤図書館長 ・ 東本石橋プラザ館長 ・ 上阪公民館長 ・ 田上生涯学習推進課長 ・ 南石橋プラザ副館長 ・ 杉本図書館副館長 ・ 高野資料館副主幹 ・ 則政生涯学習推進課主事 <p style="text-align: right;">計 10名</p>
<p>《委 員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たつみ議長 ・ 室田副議長 ・ 小倉委員 ・ 楠田委員 ・ 杉山委員 ・ 馬場委員(校長) ・ 古田委員 ・ 向田委員 <p style="text-align: right;">計 8名</p>	<p>〈事務局職員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松森教育部次長 ・ 谷口教育部次長兼歴史民俗資料館長 ・ 加藤図書館長 ・ 東本石橋プラザ館長 ・ 上阪公民館長 ・ 田上生涯学習推進課長 ・ 南石橋プラザ副館長 ・ 杉本図書館副館長 ・ 高野資料館副主幹 ・ 則政生涯学習推進課主事 <p style="text-align: right;">計 10名</p>		
欠 席 者	なし		
傍 聴 者	なし		
議 長	たつみ 議長		
議 題	1、正副議長選出 2、これからの社会教育関係事業計画について 3、池田市立山の家について考える 4、その他		
配 布 資 料	① これからの社会教育関係事業計画について、池田市立山の家について ② 平成25年度池田市教育委員会の活動及び評価に関する報告書 ③ 「文楽の入門教室」チラシ ④ 「池田市三曲協会 第40回記念演奏会」チラシ		

議 事 経 過

開 会
(教育部次長あいさつ)
1、案件1 正副議長選出
議長・・たつみ委員 副議長・・室田委員
2、案件2 これからの社会教育関係事業計画について
資料①に基づき、各部署の社会教育関係事業計画について事務局より説明。
委員 (中央公民館について) 市民企画講座の選定基準はどのようなものなのか。
事務局 今までにない企画であり、市民ニーズに合致している講座を採用するようにしている。例として「はじめての韓国語」講座がある。太極拳やアンチエイジングの講座も高齢化のニーズを意識している。
委員 (図書館について) 公民館に図書コーナーができたが、職員人数の変化は？
事務局 図書コーナーは任期付き司書5名とアルバイト2名の7名体制となっており、その分の職員数は増加している。
委員 (歴史民俗資料館について) 資料の目録があれば便利だが、出版はされているのか。
事務局 全体の目録はないが、以前に古文書資料を中心とした目録を第7集までは刊行。市民より問合せがあれば、ニーズに応じた資料を案内している。今後は職員が資料を検索できるシステムの構築も検討中である。
委員 (歴史民俗資料館について) シンポジウムの周知方法は？ また、例年と異なり中央公民館で実施する理由は？
事務局 周知方法については市ホームページへの情報掲載、周辺施設へのチラシ配布に加え、建築学科のある大学や9月に開催された神戸建築学会などでもチラシ配布を依頼し、シンポジウムに興味のある人へ情報が届くよう工夫を行った。公民館で実施する理由は、駅に近い所で開催することで、集客効果に変化があるか調べるためである。資料館と異なり、展示物を鑑賞しながら講演ができないデメリットもあるが、出席者にアンケートも行い、今後の参考にしようと考えている。
委員 (生涯学習推進課について) 三曲協会、民謡民舞協会、音楽連盟の演奏会観客が伸び悩んでいるようだが、どのような対策が可能か。
事務局 例えば池田市吹奏楽団は、演奏施設以外での活動(老人ホーム慰問や街角での演奏)を積極的に行い、自主的なチラシ配布にも取り組むことで周知活動を行い、主催演奏会での集客に一定の効果を上げている。同様の動きが、他の団体にも必要なのではないかと考えている。
3、案件3 池田市立山の家について考える
資料①に基づき、池田市立山を家の概要、廃止予定の現状、年度別利用状況について説明。
委員 公共の宿泊施設は他にないのか。また、どのような宿泊利用が多いのか。
事務局 五月山にキャンプ用のスペースは設けられているが、他にはない。宿泊利用は子ども会やボーイスカウト、ガールスカウトが大半。他地域のスポーツ団体が遠征で使用するケースも。
委員 不登校対応などでのスクーリング利用者の実数は分かるか。

